

令和5年7月6日

【日本一市民目線の市役所実現のための 裾野市 DX 方針 骨子】

デジタル部業務改革課

概要

市長戦略の実現に向けて、市が重点的に実施すべき DX 施策を取りまとめるもの
期間:令和 5 年度から令和 7 年度

コンセプト

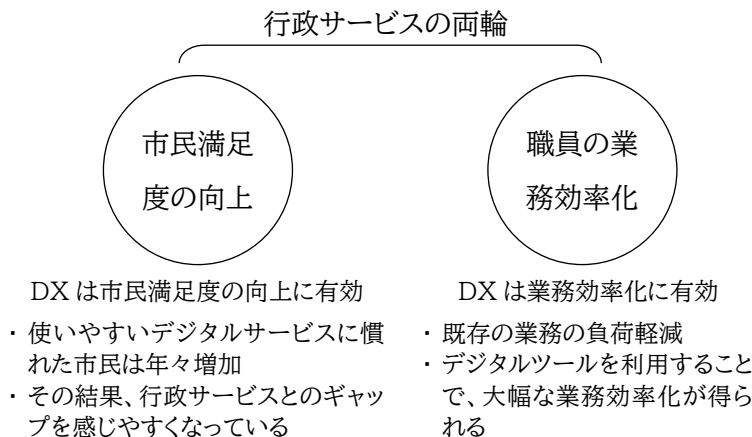
デジタルで日々の体験に変革を

日本一デジタルを活用した業務改革で、日本一市民目線の市役所を実現します

- 行かない、待たない、書かない(いろいろな手続きに時間をとられない)
- わかりやすい(行政サービスは使いやすい)
- 効率的な行政運営(行政サービスの持続性を確保)

基本的方向

DX で、「市民満足度の向上」「職員の業務効率化」



具体的な取組

取組の柱	方向	主な取組(取組年度)
市民目線でのサービス改善	全庁的なデジタル化の推進	市民満足度調査の活用(継続)と改善(R5) / オンライン申請の推進(R5~)
	各課のデジタル化の推進	窓口 DX(書かない窓口(R6 以降導入検討)、おくやみワンストップ(R5 導入検討))
	市民のデジタル活用のサポート	スマホ等デジタルツール活用教室の開催(R5) / 地域における相談体制の構築(R5)
業務効率化による工数削減	業務改善	各業務に係る工数の把握と改善(R5~) / 煩雑化する各課業務の改善(R5~)
	全庁的な DX の推進	会議 DX(継続) / 決裁 DX(R5,6) / 組織・職員意識の変革(R5~)
	DX のためのシステム環境整備	新端末の展開(継続) / コラボレーションツールの有効活用(R5~)

問い合わせ/裾野市 デジタル部 業務改革課 担当:山下 電話 055-995-1871